

しょうがくせい ちゅうがくせい む
小学生・中学生向け

だい じ さっぽろし と し けいかく 2次札幌市都市計画マスタープラン(案) あん

い けん ぼしゅう ご意見を募集します！

ぼしゅうきかん
募集期間

へいせい がつ にち か へいせい がつ にち すい ひっちゃんく
平成28年1月12日(火)～平成28年2月10日(水) (必着)

しやくしよ しみん きぎょう みな
市役所では、市民や企業の皆さんと
いっしょ ちから あ と 一緒に力を合わせて取り組んでいく
とし もくひょう とりぐみ ないよう
都市づくりの目標や取組の内容をまとめた
だい じ さっぽろし と し けいかく
『第2次札幌市都市計画マスタープラン』を
つく
作っています。

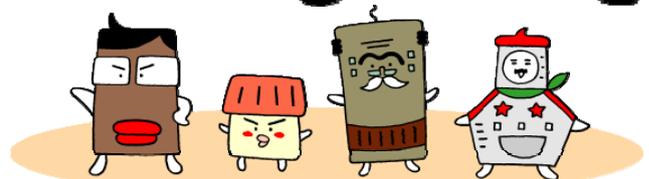
さっぽろし みらい にな いけん さんこう
札幌市の未来を担うみなさんのご意見を参考にして
よりよい計画にしたいと考えていますので、
このパンフレットをよ読んで、気づいたこと、
かんが おし
考えたことを教えてください。



大人の皆さまへ

このパンフレットは、「第2次札幌市都市計画マスタープラン」の策定にあたって、子どもたちの意見を聞くために作ったものです。ぜひ、お子様と一緒に読みください。

また、市役所・各区役所・まちづくりセンターなどで、大人用の資料も配布していますので、あわせてご覧ください。



しやくしよ 市役所くん マチコ マチオ とけいだい 時計台じいさん

さっぽろし しみん きょく と し けいかく ぶ
札幌市 市民まちづくり局 都市計画部

市政等資料番号
01-C05-15-1799

1. 都市計画マスタープランって何？



これからの札幌がどのようなまちになったら良いか、みんなが暮らしやすいまちにするために、どのような仕組みをつくり、それをどうやって使っていくかなどについて目標や取組をまとめた計画です。

これまでの計画を見直して、これからの新しい計画を作っています。
新しい計画について、市役所くんに聞いてみよう！



新しい計画はいつを目標にしているの？

約20年後の平成47年(2035年)を目標にしています。



新しい計画ができるか、どうなるの？

計画の目標達成に向けて、交通やエネルギーなどの関連する部門と協力しあい、計画を具体的に進める取組を行っています。



新しい計画はどうやって作っているの？

アンケートや話し合い、パネル展などで市民の意見をたくさん聞いて、市民と市役所と一緒に計画を作っています。



2. 札幌の状況の変化や課題を知ろう！

あら けいかく 新たな計画をつくることになったのは、まえ けいかく 前の計画をつくった時から じょうきょう か 状況が変わり、あたらしい 新たな課題が生まれているからです。

① 人口は減るけれど、高齢者の割合は大きくなるよ。



働く人が減るとまちの活気がなくなるし、まちを維持できなくなるのでは？

年を取っても健康に安心して暮らせるのかな？



② 地下鉄やバスなどを使う人より、自動車を使う人の方が多いよ。

ということは・・・



高齢者になって車が運転できなくなって、生活が不便になる人が多くなるのでは？



車が運転できない高齢者が増えても、便利に暮らせるまちづくりが必要です！

⑤ 古くなった公共施設や道路が、どんどん増えていくよ。

⑥ 働く世代の人が減ったりして、札幌市が使えるお金が少なくなるよ。

古い建物や道路を全部新しくすればいいのでは？



でも、それだとものすごくお金がかかるのう！



③ 二酸化炭素の排出量が増えているよ。

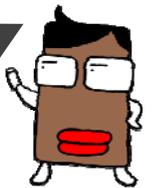


冬の暖房でたくさんエネルギーを使っているよね？

このままだと、地球環境のバランスが崩れて、生き物が生きていけなくなってしまうかも！



今ある建物などを大事に使ったり、これからつくるものを長く使えるようにすることが大事です！



④ 石油などのエネルギー資源は限りがあるので、再生ができる太陽光発電などに注目が集まっているよ。

⑦ 生活や仕事などで海外とのつながりが強くなり、外国人の観光客なども増えているよ。



もっとたくさんの人に、札幌に興味を持ってもらうために・・・



札幌の魅力を発信していくことが大切だね！

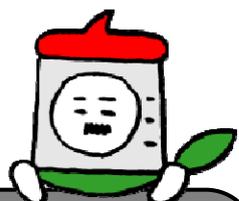
いろいろな状況の変化や課題に立ち向かうために、これからは4つのポイントを考えながらまちづくりを進めなければなりません！



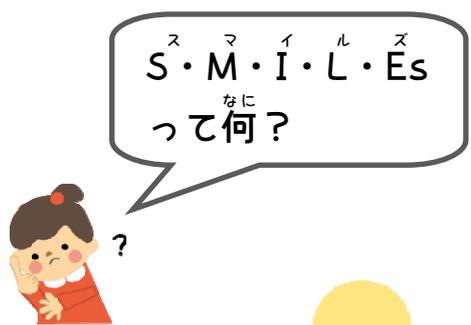
1. 人口が減っても永く続いていくまち
2. 豊かな市民生活の実現
3. 札幌らしい魅力づくり
4. 地域の特徴をいかしたまちづくり

3. 都市づくりの理念

新しい「札幌市都市計画マスタープラン」の理念を、このように考えました。



スマイルズシティ サッポロ
S・M・I・L・Es City Sapporo
 ～誰もが笑顔でいきいきとすごせるまちへ～



ス・マ・イ・ル・ズ
 S・M・I・L・Es
 って何？

いろいろな面で札幌の魅力や活力を高めて、札幌の住む人や札幌に来る人など、みんなが笑顔ですごせるまちにするという願いが込められています。



4. 都市づくりの基本目標



都市をより魅力的に、より元気にしていくための都市づくりの基本目標を、2つの見方からこのように考えました。

都市づくり全体の目標

まちの魅力や活力をつくり出し
道内・国内・海外とつながりながら北海道をリードする
世界都市



高齢者が多くなることを考えて
住宅や生活を支える施設を地下鉄駅の周辺などに集めた
誰もが移動しやすく暮らしやすい
コンパクトな都市

自然に囲まれたゆとりある郊外での暮らしや
都心や地下鉄駅周辺などでの便利な暮らしなど
いろいろな暮らし方を選べる
札幌らしいライフスタイルが実現できる都市



地下鉄やバスなどの公共交通を中心としたまちづくりを進め
環境にやさしいエネルギーを効率良く利用できる仕組みをもった
低炭素都市

建物や道路、上下水道などの点検や管理をきちんと行い
災害時にもまちの活動が続けられる
安全・安心な都市

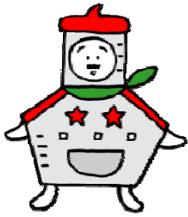


身近な地域の目標

市民・企業・行政などの多様な協働により
地域のよい取組がどんどんひろがっていく都市



5. 総合的な取組



いろいろな部門が連携して総合的に取り組む都市づくりについては、都心や拠点、住宅地などの区分別に、このように進めていきます。

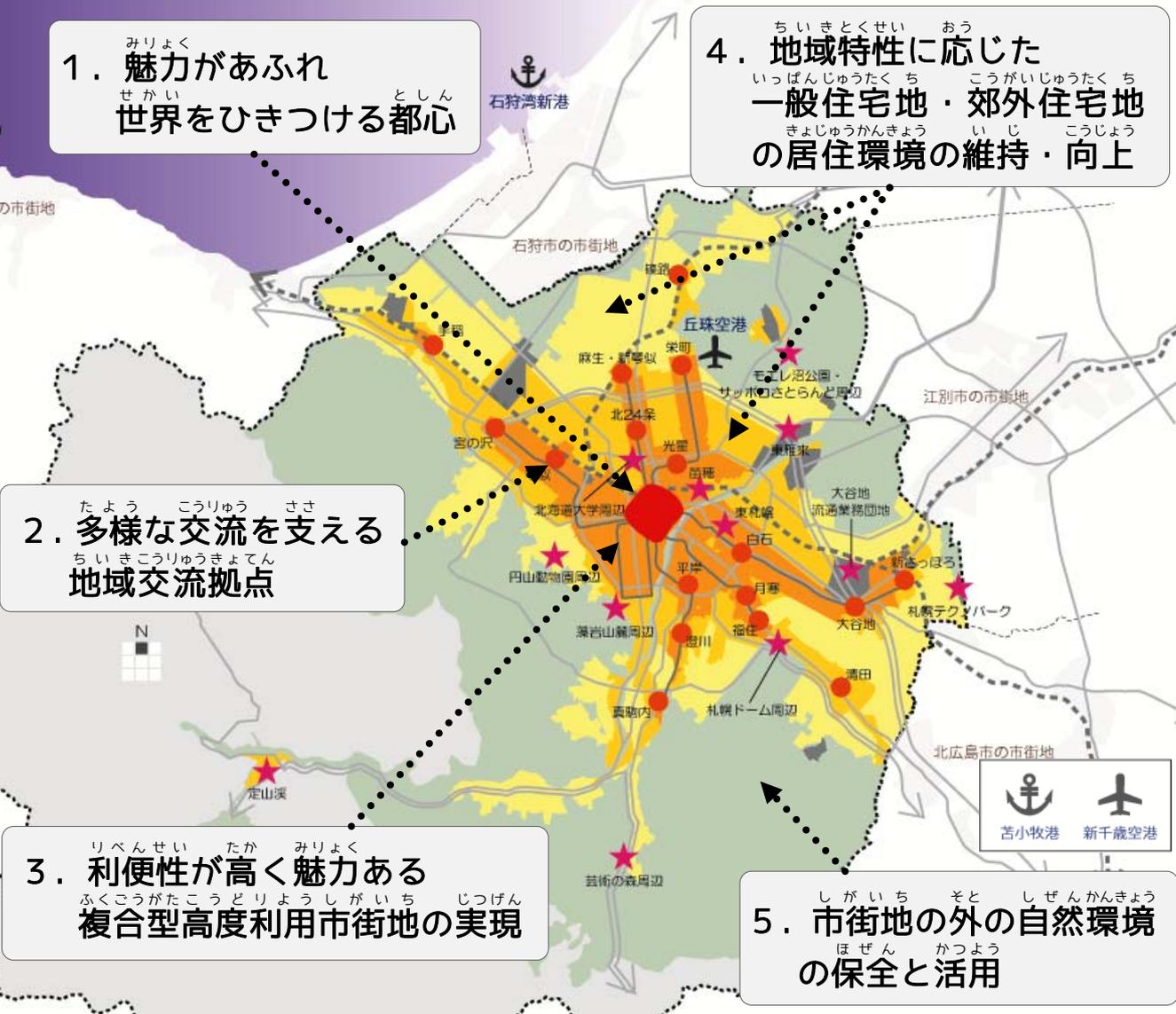
1. 魅力があふれ
世界をひきつける都心

4. 地域特性に応じた
一般住宅地・郊外住宅地
の居住環境の維持・向上

2. 多様な交流を支える
地域交流拠点

3. 利便性が高く魅力ある
複合型高度利用市街地の実現

5. 市街地の外の自然環境
の保全と活用



	都心（札幌の中心部）		複合型高度利用市街地 （マンションが多く、便利に喜らせる市街地）
	地域交流拠点 （地下鉄やJRの駅などの周り）		一般住宅地 （いろいろな暮らし方ができる住宅地）
	高次機能交流拠点 （産業や観光、芸術やスポーツなどの拠点）		郊外住宅地 （一軒家が多く良好な環境で暮らせる住宅地）
	工業地・流通業務地 （工場や倉庫などが集まっている地区）		市街地の外

1. 魅力があふれ世界をひきつける都心

将来のイメージ：環境にやさしく災害に強い、未来に向かって永く続いていく、世界に注目されるまちがつけられています

- 札幌駅や大通に交流の場をつくり、互いに連携しながら、都心の価値を高めます。
- 歩きたくなるまち、訪れやすいまちをつくりまします。
- 環境にやさしく、みどり豊かなまちにします。
- 市民や企業が協力しあって、都心の魅力を高める取組を進めます。

2. 多様な交流を支える地域交流拠点

将来のイメージ：便利な施設が集まり、冬でも安全・快適に歩いて移動できる便利なまちになり、たくさんの人々でにぎわっています

- それぞれの拠点の特徴に合わせて、今あるまちの良さをいかした取組を進めます。
- 広場や公園など、人々が交流できる場所をつくりまします。
- 区役所などの公共施設の建替えなどに合わせて、環境にやさしく・効率良く、エネルギーを使う取組を進めていきます。

3. 利便性が高く魅力ある複合型高度利用市街地の実現

将来のイメージ：地下鉄駅の周りなどでは、マンションや、お店・病院などの生活に必要な施設が集まり、住む人が増えています

- マンションなどが建ち、人が増える所では、公園などを活用してみどりを確保します。
- 路面電車の線路沿いの地域では、それぞれの地域に合った魅力的な街並みにするための取組を進めていきます。

4. 地域特性に応じた一般住宅地・郊外住宅地の居住環境の維持・向上

将来のイメージ：児童会館やまちづくりセンターなどと一緒にあった小学校で、地域の子どもからお年寄りまでみんなが交流しています

- 小学校の建替えに合わせて地域の人々が集まる空間をつくったり、暮らしやすい環境を維持しながら、さらに魅力のある地域にしています。
- 空き家などをきちんと管理したり活用するための取組を進めます。

5. 市街地の外の自然環境の保全と活用

将来のイメージ：市役所・市民・企業が一体となってみどりを守っています

- 良好な自然環境を守り、新たなみどりを生み出します。
- 市街地の外ならではの特徴をいかした土地の使い方を考えまします。

6. 部門別の取組



部門ごとに取り組む都市づくりについては、①土地利用、②交通、③エネルギー、④みどり、⑤その他都市施設の5つに分けて進めていきます。

① 土地利用（土地の使い方）

市街地の範囲は、現状の大きさのままとします。

人口が減り、高齢者が多くなっても、それぞれの市民が望むいろいろな暮らし方ができるように、都心や地下鉄駅周辺などの拠点、郊外の住宅地などいろいろな地域の特徴に合わせて魅力のある元気なまちをつくりまします。

市街地の外は、自然環境を守りながら、その特徴をいかした土地の使い方を考えます。

都心では、札幌の中心にふさわしい施設を集めます。また、電気などを自給自足して分け合える仕組みづくりなどを進めて、大きな災害の時でもまちの活動が止まってしまわないようにしていきます。

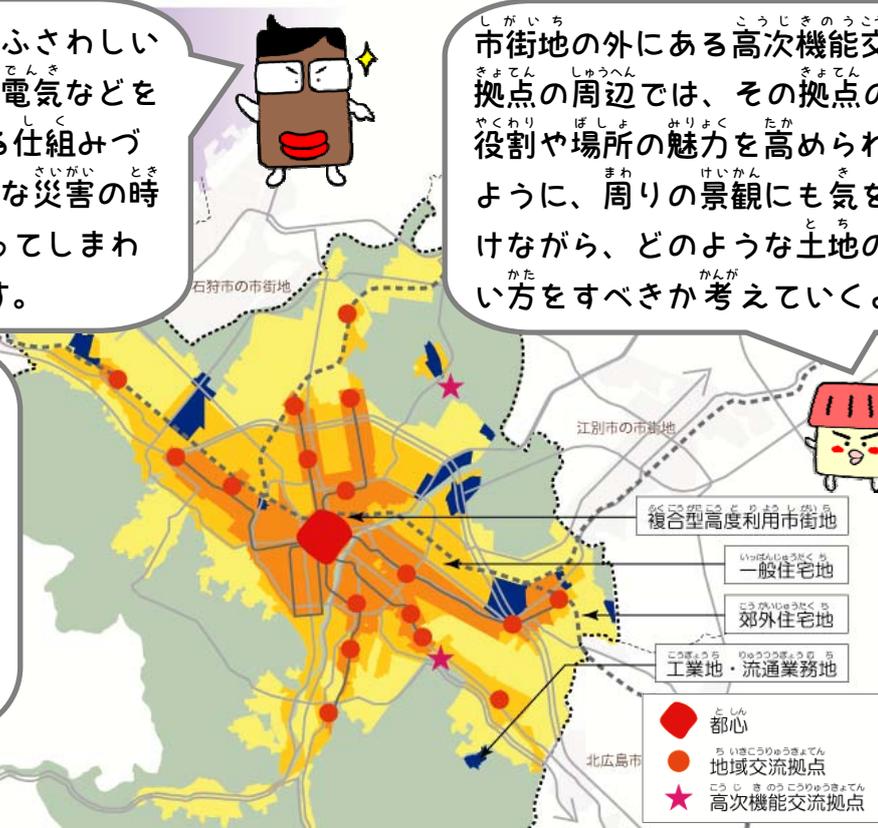


市街地の外にある高次機能交流拠点の周辺では、その拠点の役割や場所の魅力が高められるように、周りの景観にも気を付けながら、どのような土地の使い方をすべきか考えていくよ。



地下鉄駅周辺などの拠点では、区役所などの公共施設や、店舗・病院などの生活に必要な施設を集めて、人が交流したりにぎわいのある地域にするんじゃよ。

地下鉄の駅に近い便利な地域では、マンションや生活に必要な施設などを集めたり、公園や広場などを充実させたりしていくのじゃ。郊外の住宅地は一軒家が多いので、ゆとりのある暮らしを守りながら、地域に住む人たちのつながりを大事にしていくんじゃのう。

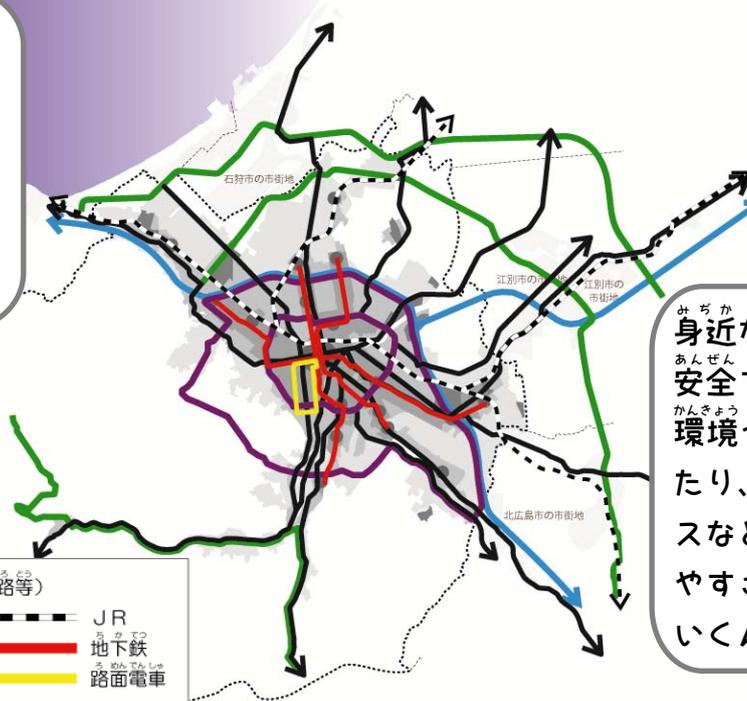


② 交通

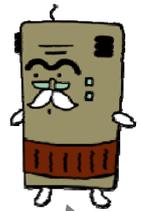
■バスや地下鉄などの公共交通を上手に活用することで、拠点に行きやすくなり、車なども含めたいろいろな移動手段を連携させて、より良いものにしていきます。

■それぞれの地域の特徴に合わせて、歩行者や自転車に乗る人にとっても移動しやすいまちをつくりまします。

北海道新幹線が平成43年に札幌までくる予定なので、札幌以外のまちとも行き来しやすい道路や公共交通にしていまします。



身近な地域では、安全で歩きやすい環境づくりを進めたり、地下鉄やバスなどの乗り継ぎやすさを良くしていくんじやのう。

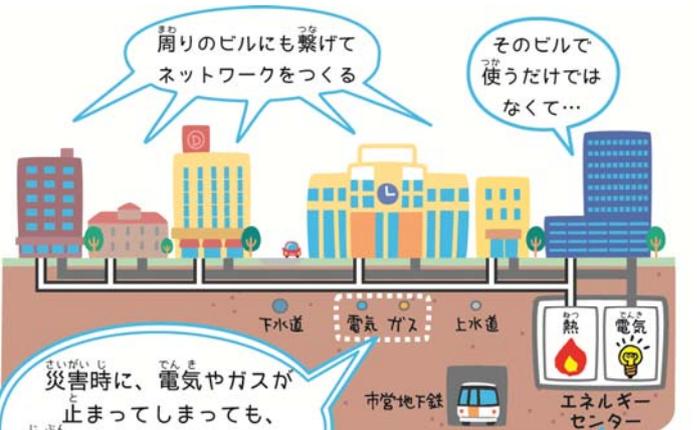


③ エネルギー

■「環境首都・札幌」を目指して、エネルギーの利用を減らし、環境にやさしいエネルギーを使うなどのいろいろな方法で、二酸化炭素の排出量を少なくする取組を進めていまします。



■電気や熱などのエネルギーを分けあえるネットワークを広め、災害時にも活動を維持できる仕組みをつくりまします。



災害時に、電気やガスが止まってしまっても、自分でつくったエネルギーで活動することができる！

例えば都心では、熱や電気のエネルギーについて考えているよ。

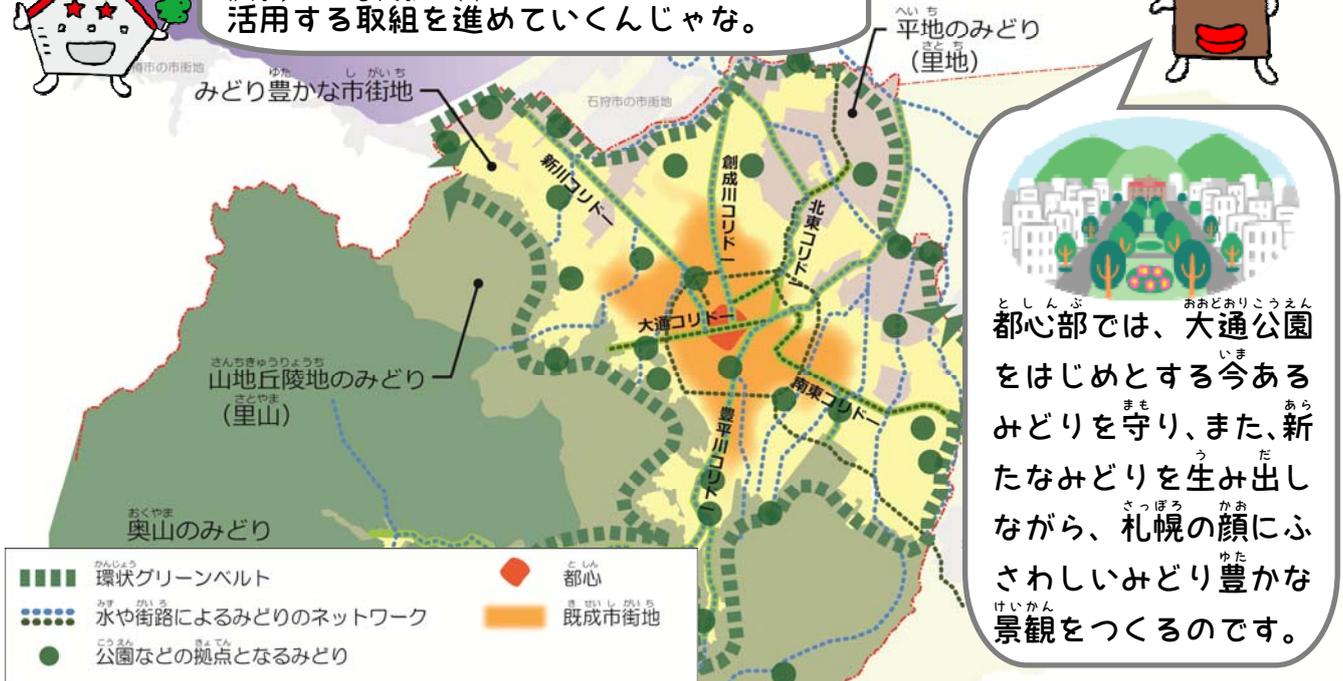
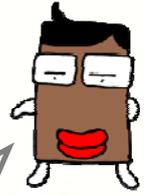
ビルの地下などにエネルギーセンターを設置して、熱や電気をつくる！

④ みどり

- 市民・企業・市役所などが協力して、みどりづくりを進めます。
- 昔から人がたくさん住んでいた所の中でも、特に人が増えている所や都心部では、積極的にみどりを増やします。
- 公園や緑地の魅力を高めるため、きちんと管理をしたり、上手に活用しながら、それぞれの地域にふさわしいみどりづくりを進めます。



森林や農地など市街地の外側にあるみどりは、市民とともに大切に守りながら、上手に活用する取組を進めていくんじゃな。



都心部では、大通公園をはじめとする今あるみどりを守り、また、新たなみどりを生み出しながら、札幌の顔にふさわしいみどり豊かな景観をつくるのです。

⑤ その他都市施設

河川



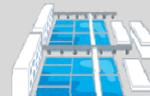
- 川の安全性を高めます。
- 自然環境を考えたより良い水辺空間をつくり、守ります。
- 川を大切にする意識づくりを進めます。

上水道



- 将来にわたって安定して水を届けるための取組を進めます。
- 災害に強い水道の整備を進めます。
- 環境にやさしい取組を進めます。

下水道



- 計画的に施設の建替えを行います。
- 災害に強い下水道の整備を進めます。
- 下水道の持つ熱エネルギーなどを上手に活用します。

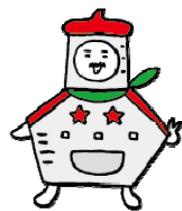
廃棄物処理施設



- リユース（再利用）やリサイクルなどの取組を進め、ごみを減らします。
- ごみを燃やす時に発生する熱や電気などを、エネルギーとして上手に活用します。

7. 取組を支える仕組み

目標の実現に向けて、これまで説明したいろいろな取組を進めていくためには、市民や企業・市役所などがそれぞれ役割分担をして、お互いに協力しあう必要があります。



① いろいろな場面でいろいろな人と協力する！

市民、企業、市役所などが力を合わせて、取組の内容に合わせていろいろな関わり方をするのが大切です。

特に、それぞれの地域を良くするためには、そこに住む市民のみなさんが、自分から身近な地域の都市づくりに取り組むことが、とても大切です。



- いろいろな段階で…計画・実行・見直し…
- いろいろな視点で…札幌市全体・各地域…
- いろいろな人と…市民・企業・市役所…
- いろいろな部門が…土地利用・交通・環境…



② 情報を共有する！

みんなで協力しながら都市づくりを進めるためには、都市づくりについてのいろいろな情報を、みんなで共有する必要があります。そこで、みなさんが情報を手に入れやすいように、インターネットなども活用して、情報を伝えていきます。



③ 都市計画の内容や手続きの流れをわかりやすくする！

都市づくりを進めるために必要な計画を決める時は、説明会を開いたりして、どんな内容の計画なのかを、市民のみなさんに分かりやすく伝えていきます。そして、みなさんが理解できたか、どんな意見を持っているかを確認しながら、計画を決めていきます。



これで、新しい『札幌市都市計画マスタープラン』についての説明は終わりです。これからの札幌のためのもとても大切な計画なので、みんなが思ったことをいろいろ教えてください！



まちづくりに役立つ都市計画の本
「まち本」



さっぽろのまちがわかる小さな本
「ミニまち」

どちらも、札幌市役所の本庁舎5階 市民まちづくり局都市計画部 で配布
しています。興味のある人は、ぜひ読んでみてください。



だい じ さつ ぼ ろ し と し け い か く 第2次札幌市都市計画マスタープラン (案) い けん よ う し 意見用紙



あなたは、このパンフレットをよ読んで、どんなことを思いましたか？
また、あなたは札幌に、どんなまちになってほしいですか？
気づいたことや、考えたことを、書いて送ってください。

なまえ <お名前>

がっこうめい <学校名>

がくねん <学年・クラス>

ねん 年

くみ 組

しょうがっこう 小学校
ちゅうがっこう 中学校

い けん <ご意見>

Area with horizontal dashed lines for writing opinions.

か い けん た ば あ い べ つ か み き に ゆ う どう ふ う ※ 書くスペースが足りない場合は、別の紙に記入して同封してください。

な ま え し ゅ う け い い が い も く て き し ょ う さ つ ぼ ろ し こ じ ん じ ゅ う ほう ほ こ ※ お名前は、集計以外の目的に使用することはありません。札幌市個人情報保護
じ ょ う れ い き て い し た が て き せ い と あ つ か 条例の規定に従って、適正に取り扱います。

ほ こ し ゃ き に ゆ う ら ん <保護者の記入欄> お子様のご意見に対する補足説明などがありましたら、ご記入ください

Area with horizontal dashed lines for guardian's input.

※なお、市役所・区役所・まちづくりセンター等で、大人用の資料も配布していますので、合わせてご覧いただき、ぜひ保護者の皆さまも意見をお送りいただけると幸いです。

キリトリ

のりしろ ★

キリトリ

のりしろ ★

★

★

みなさんのご意見を募集します

提出方法について

- ◆ 郵便のほか、FAX・Eメール・ホームページでも受け付けています。また、直接、市役所の市民まちづくり局都市計画課まで持ってきてくださっても構いません。
- ◆ 学校で記入用紙を取りまとめている場合は、学校に提出してください。

郵送の場合の手順

- ① キリトリ線に合わせてこのページを切り取り、裏面にご意見を記入してください。
- ② 折り線のとおりに折って、のりしろ（色が付いている所）にのりを塗って、貼り合わせてください。
- ③ ポストに入れてください。切手はいりません。

意見募集期間

平成28年1月12日（火）～平成28年2月10日（水） <必着>

ヤマオリ②

料金受取人私郵便

札幌中央局
承認

1437

差出有効期間
平成28年
2月29日まで

切手不要



0608788

札幌市市民おがびり局都市計画部都市計画課 行
<第2次札幌市都市計画マスタープラン>

札幌市中央区北1条西2丁目

6-211N

意見募集について

- ① 寄せられた意見に対して個別に回答はしません。意見の要点をまとめ、それに対する市役所の考えと合わせてホームページなどで発表します。
- ② 記入用紙に、氏名や学年などを書かなくても構いません。意見の要点を発表するとき、氏名は公表しません。が、学年は紹介する場合があります。
- ③ 記入用紙を直接、市民まちづくり局都市計画課にお持ちいただく場合、受付時間は、平日の午前8時45分から午後5時15分までです。
- ④ 電話によるご意見の受付は行っていません。
- ⑤ このパンフレット（小学生・中学生向け）のほかに、一般用（高校生・大人向け）の資料を、市役所や区役所、まちづくりセンターなどで配布しています。

お問い合わせ先

札幌市市民まちづくり局都市計画部都市計画課

◆ 住所：札幌市中央区北1条西2丁目
札幌市役所本庁舎5階北側

◆ 電話：011-211-2506

◆ FAX：011-218-5113

◆ Eメール：nijimas@city.sapporo.jp

◆ ホームページ

： <http://www.city.sapporo.jp/keikaku/master/nijimas.html>

第2次札幌市都市計画マスタープラン



6-211N